

かすがい

市議会だより

第3回市議会定例会 平成19年度一般会計補正予算など可決 一般質問に18名

主な内容

第3回定例会	2 ~ 3 P
一般質問.....	4 ~ 8 P

春日井市内で活動している健康体操クラブ123団体(1500人)が参加し日頃の練習成果を元気いっぱい披露しました。



KASUGAI CITY COUNCIL

2007.8 第45号

市議会だよりは、環境保護のため再生紙を使用しています。

条例案・一般議案など15件を承認・可決・同意

平成19年第3回定例会

平成19年第3回定例会は6月18日から7月2日までの15日間の会期で開催されました。

定例会には、補正予算案4件、条例案7件、一般議案3件、人事案件1件が提出され、承認、可決、同意されました。なお、報告は11件でした。

一般質問は6月28日に行われ、18名の議員が市政の課題について当局の考え方をたどしました。

補正予算案

平成18年度一般会計補正予算の専決処分の承認歳入に係る財源更正を補正する専決処分です。

平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、18億7,000万円を補正する専決処分です。

平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認

前年度繰上充用金として、5,225万3,000円を補正する専決処分です。

平成19年度一般会計補正予算

通所授産施設利用奨励金支給663万3,000円、グループホーム等運営費補助401万7,000円の補正です。

条例案

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
配偶者以外の扶養親族の補償基礎額の加算額を1人につき200円(現行2人目まで200円、3人目以降167円)とするものです。

市立学校設置条例の一部を改正する条例

春日井篠原土地区画整理事業の換地処分に伴う字の区域の設定に伴い篠原小学校の位置を春日井市熊野町北1丁目1番地とするものです。

私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例

新しく保育園、小学校2年生に兄又は姉がいる場合の補助金額等を定めるとともに、一部を改定するものです。

勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例

勤労青少年ホームの利用対象者を30歳未満から35歳未満に改めるものです。

市税条例の一部を改正する条例

火災予防条例の一部を改正する条例

手数料条例の一部を改正する条例

一般議案

(仮称)中西部地区保育園新築工事(建築)の請負契約

(仮称)中西部地区保育園を新築するものです。

契約金額 2億2,127万1,750円

相手方 株式会社 浅田工務店



衛生プラント乾燥焼却設備工事の請負契約
乾燥焼却設備を更新するものです。

契約金額 1億8,900万円

相手方 荏原エンジニアリングサービス株式会社
中部支店

損害賠償の額の決定

平成18年4月12日市道における道路事故についての損害賠償を行うものです。

損害賠償額 216万3,355円

人事案件

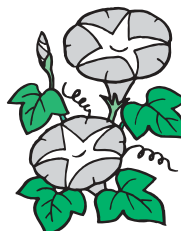
固定資産評価員の辞任に伴い、森 典嗣氏の選任に同意しました。

議員表彰

6月19日に開催された第83回全国市議会議長会定期総会において、次の3名に議員在職20年の表彰状が、授与されました。

前川 銑一議員、蟹江 光正前議員、堀田 治前議員

暑中お見舞い申し上げます



公職選挙法により、議員があいさつ状を出すことは禁止されています。

春日井市議会

第 3 回 定 例 会

上 程 議 案 と 審 議 結 果

補正予算案..... 4 件		
平成18年度一般会計補正予算の専決処分の承認.....	承 認	全会一致
平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認.....	承 認	全会一致
平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算の専決処分の承認.....	承 認	全会一致
平成19年度一般会計補正予算.....	可 決	全会一致
条例案..... 7 件		
市税条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
火災予防条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
市立学校設置条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
手数料条例の一部を改正する条例.....	可 決	全会一致
一般議案..... 3 件		
(仮称)中西部地区保育園新築工事(建築)の請負契約.....	可 決	全会一致
衛生プラント乾燥焼却設備工事の請負契約.....	可 決	全会一致
損害賠償の額の決定.....	可 決	全会一致
人事案件..... 1 件		
固定資産評価員の選任の同意.....	同 意	全会一致

平成19年第4回定例会予定

9月10日(月)	本会議(提案理由説明)
9月12日(水)	本会議(質疑、委員会付託)
9月13日(木)	文教経済委員会
9月14日(金)	厚生委員会
9月18日(火)	建設委員会
9月19日(水)	総務委員会
9月25日(火)	本会議(一般質問)
9月26日(水)	本会議(一般質問)
9月28日(金)	本会議(採決)

議事の都合により、日程が変更になる場合があります。 問い合わせ 議事課(☎85-6492)

市議会のホームページ

市議会の予定、会議録、市議会だよりなどがご覧いただけます。

【アドレス】

<http://www.city.kasugai.aichi.jp/gikai/hyosi.html>
春日井市ホームページからアクセスしてください。

傍聴のご案内

市議会の本会議と常任委員会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。身近な市政の動きを知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【本会議を傍聴される方】

本会議は、通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は、本庁舎5階の議場傍聴席入口にお越しく下さい。定員は88名で、うち車いす席は6名です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は、通常午前9時に開会します。当日の午前8時半から午前8時45分までに、市役所3階議会事務局にお越しく下さい。定員は5名です。(定員を超えた場合は抽選で決定します)





市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、18名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり30項目の一般質問を行いました。一般質問は市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

1 発達障害児教育の支援体制について

質問者 田中 千幸 担当 学校教育課他

【質問】こちらの相談室ひまわりで、この4月より行われている児童精神科医による相談の利用者と利用状況について。また、発達障害児に関する専門知識を持つ教員等の配置と研修体制の整備について問う。さらに、周囲で暮らす人々の発達障害への理解が大変重要な支援となることから、市民に対する理解・意識啓発活動をいかに進めていくのかを問う。

【答弁】児童精神科医による相談は、5月に2名を対象とし、発達障害について具体的に保護者にアドバイスしています。また、専門機関の情報把握に努め、発達障害に関する研修を充実して、教育の専門性を高め、より個別の状況にあった発達障害児教育支援策を研究します。なお、発達障害に関して市広報への掲載や啓発パンフレットの作成などを、身体的、知的、精神の障害と合わせて行い、市民への意識啓発に取り組みます。



2 危機管理について

質問者 政木 理香 担当 市民安全課

【質問】総合防災訓練や水防訓練等を実施されているが、職員・住民の訓練の実施状況と、このような備えが市民の本当の安心、安全につながっているのかを問う。また、それぞれの地域の特性、実情に合わせた危機管理がなされているのか、その実態について問う。

【答弁】災害に対する備えは、現在でも一定の基準は確保されていると考えておりますが、今後とも訓練の方法や内容も含め、有効な備えについての検討を重ねていきます。また、地域の実情に合わせ、自主防災会に対する設立支援、訓練や研修会の実施、資機材の維持管理などを行っていますが、行政だけでなく、市民と協働で地域の防災力を向上させ、被害軽減を目指していきたいと考えています。



3 敬老会と敬老金について

質問者 中藤 幸子 担当 福祉課

【質問】敬老会の対象者(80歳以上)が1万人を超える今日、総合体育館での開催には無理がある。地域での開催について検討すべきではないか。

3千円の敬老金の一律支給は、対象者の増加により19年度も3千6百万円が予算化されている。このままでは、いずれ経費捻出のため別のサービスを止めざるを得ない事態となる。見直すべき時期ではないか。

【答弁】敬老会の開催につきましては、高齢者が参加しやすく、地域の自主性を生かした地域開催に向け、具体的な手法や受け皿づくりなどを検討してまいります。

敬老金の支給につきましては、急速な高齢化の進行に伴い、対象者の大幅な増加が予測される中で、社会情勢や他市の状況などを勘案し、支給のあり方を検討したいと考えます。



4 災害時における公園機能の充実にについて

質問者 佐々木 圭祐 担当 市民安全課

【質問】一次避難場所が地域の公園ですが、地元の公園を知っていても、他の避難先公園が何処にあるのかが分からないのが現状で、災害弱者である子どもたちや外国の方など、地元の人以上にも分かりやすいよう、緊急避難場所となる公園に公園名だけでなく、防災マップと合わせた番号を設定し、表示することで広く周知していく必要があるのではないかと考えます。

【答弁】緊急避難場所となる公園に、公園名だけでなく一連の番号を付すことは、災害時要援護者や地元の人以外にも、わかりやすくなると考えられます。今後、新たな防災マップ等の作成時期に併せ、公園等の標示板への番号設置、防災マップ等への記載について検討してまいります。



【答弁】公民館等は、講師を依頼して日程計画を立てる団体が多いため、アンケートを実施し先着順としています。今後は、20年10月の新システム切り替えに向け、施設に応じた効果的な運用を検討します。また、福祉の里は、抽選にした場合、予定した日程が確保できず、スケジュールの調整が煩雑になることも予想されますので、しばらくは現状のままとし、公平で利便性の高い受付について研究します。



5 子どもの健康と体力の増進について

質問者 山際 喜義 担当 学校教育課

【質問】中学生の4人に1人が、うつ状態にあり、1～2%がメタボリックシンドロームの可能性があるといわれ、ここ20年来、子どもの体力が低下し続けている。食育、生活習慣の改善とともに運動、スポーツの振興が重要である。子どもの心と体の健康と体力の現状、学校の枠を越えた学校部活の支援策、総合型スポーツクラブ設立について伺います。

【答弁】心の健康は、うつ症状の一部といわれる不登校が前年度を30%上回り、体の健康では、肥満傾向が見られ生活習慣病になる要因を抱えています。18年度体力テストでは、走力と筋力・瞬発力を除き県、国の平均を下回り、体力の低下傾向が続いています。部活動支援策は、実践研究の成果を踏まえ検討するとともに、総合型地域スポーツクラブの設立準備委員会設置に向けて取り組んでまいります。



6 文化・スポーツ施設の予約について

質問者 丹羽 一正 担当 生涯学習スポーツ課他

【質問】スポーツ施設は、ふれあい情報端末機による抽選。ふれあいセンターも抽選。総合体育館、公民館、レディヤン、福祉の里等の施設は先着順であり、統一できないか。福祉の里は、高齢者の利用が多く、早朝より玄関先に並ばれている。どのようにとらえられているのか。今後インターネットで予約できるシステムが開発されるが、どのように運用されるのか問う。

7 財政の健全化について

質問者 後藤 正夫 担当 財政課

【質問】地方財政健全化法案が成立した。財政健全化に向けた4つの財政指標が義務付けられ、よりシビアな財政運営が自治体に求められる。実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債比率 将来負担比率の現状と対応を問う。また、土地開発公社の経営健全化に向けた取り組みを問う。さらに市保有地の管理と有効活用について問う。

【答弁】平成17年度決算では、実質赤字比率、連結実質赤字比率とも実質黒字、実質公債比率は16.2%でした。将来負担比率については、今後示される算定方法、判断数値に注目していきます。土地開発公社の経営健全化については、健全化計画に沿って土地の処分を進め、公社の健全化を推進してまいります。



8 落合公園の再整備について

質問者 安藤 盛行 担当 公園緑地課

【質問】落合公園は区画整理後、昭和52年に公園工事が始まりかんがい用ため池から都市公園に整備され、各種イベントに幅広く利用され、市民の憩いの場になっています。公園のシンボルである落合池は、水の循環が悪くアオコが発生し、その水が生地川に流れ、川の水にも悪い影響を与えています。水の循環を良くしアオコの発生を無くす方策、池の浄化について問う。

【答弁】落合池は、東野地区などのかんがい用ため池として愛知用水から水を流入しておりましたが、土地区画整理事業により、農業用水を必要としなくなり、流入水は少なくなっています。このため、池の水が富栄養化すると、プランクトンが大量に発生し、水面が緑色に変色すると思われます。今後は、池の浄化能力とアオコの発生について、調査研究してまいります。



9 環境問題について

質問者 水野 義彦 担当 ごみ減量推進課

【質問】平成17年度の環境省による一人当たりのゴミ排出量の調査によると春日井市は県内最多である。近年、深刻な問題となっている地球温暖化の原因となるCO₂を減らすため、「ゴミの減量」は不可欠と言える。環境保護の意識改革を促すためにも、「生ゴミ処理機」等の補助金制度等を含め、ゴミ減量に対する今後の取り組みについて問う。

【答弁】ゴミの減量対策は、大変重要な課題と認識しており、生ゴミ減量に向けた啓発を始め、各種講座等を開催しています。生ゴミ処理機の補助制度や普及については、処理機の性能や機能を調査するとともに、普及方法や助成のあり方について研究します。また、「ごみ処理基本計画」に掲げたごみ減量目標に向けて、市民、事業者との協働のもと、総合的に取り組みます。

1つ1つの小さな取り組みが、地球の温暖化を防ぐ大きな力となります。

いま できることから始めましょう！

10 春日井まつりについて

質問者 熊野 義樹 担当 市民生活課

【質問】来年、平成20年は市制65周年、春日井まつりを見直す企画運営委員会も設置される事もお聞きしています。この機会を春日井まつり元年と位置付け、行政主導ではなく市民の皆様が企画し運営にも参画していただける、春日井まつり実行委員会を是非作って

ただければと思います。30万市民総出の春日井まつり、安全・安心まちづくり発信地春日井まつりを。

【答弁】30年続いた春日井まつりを見直す時期にきており、これまでの行政主導のまつりから、市民の皆さんが企画から運営まで、参画していただけるまつりを創り上げていくことが必要と考えています。そのために、まず、企画運営委員会を立上げ、これまでの成果を踏まえつつ、来年の市制65周年に合わせて、新たな春日井まつりを構築してまいりたいと考えています。



11 JR春日井駅の周辺のバリアフリー化について

質問者 小原 哉 担当 都市政策課

【質問】新聞各紙で報道されて市民の関心度が高いJR春日井駅の整備について、本年度中に策定する都市交流拠点基本構想におけるJR春日井駅の「バリアフリー基本構想」についてどのように市民の声を把握し、策定していくのかを問う。また駅利用者から、老朽化し段差もあり、利用しづらいとの声がある、駅南口のトイレの整備について問う。

【答弁】バリアフリー基本構想の策定にあたりましては、現況調査や駅利用者に対するアンケート調査などを行い、構想に反映させるとともに、学識経験者、交通事業者、関係市民団体の代表等で構成する協議会を設置し、進めてまいります。

また、駅南口のトイレにつきましては、JRの所有及び管理となっておりますので、今後、JRと調整してまいります。



12 春日井市職員等の旅費に関する条例の見直しについて

質問者 前川 銈一 担当 財政課

【質問】春日井市には時代にそぐわない条例等があり、運用と実態に大きな乖離が見られる。旅費は法令上100km未満は特急列車の利用が出来ない。現代のスピードに応えられず、時間がかかり合理性を欠いている。基本的な考え方を行程通り実費とし、帰着後精算が、透明性を確保し、一番市民の理解が得られる方法である。春日井市の見直しの考え方を問う。

【答弁】旅費につきましては、路程に応じて、鉄道旅客運賃と、駅から市役所等までの公共交通機関運賃及び目的地の地域内の移動に要する交通費等の旅行雑費としての日当を支給しています。今後、合併による行政区域の広域化、交通手段の高速化などと旅費支給事務量を総合的に考え、より適切で合理的な旅費の運用ができるよう、見直してまいります。

13 大泉寺大池周辺の環境について

質問者 伊藤 建治 担当 農政課他

【質問】大泉寺大池周辺の森林の一部が伐採され、大量の土が盛られ造成された。しかし、崩落している箇所もあり土砂が流入する恐れがある。付近ではオオタカなどの貴重な動植物の生息も確認されている。池の水は農業用水。建設残土や産業廃棄物が投棄された可能性もある。周囲に影響がないか、詳細な調査を求める。保全のために自然環境保全地区に指定すべき。

【答弁】大雨の原因と思われる亀裂箇所については、土地所有者に適切な維持管理をするよう指導しています。また、農業用水への影響については無いものと判断しています。平和公園周辺の自然環境調査は、保全地区指定に向けて実施しています。大泉寺大池周辺は、調査の対象とはなっておりませんが、今後、環境審議会等で検討してまいります。大泉寺大池付近では、貴重動植物のオオタカとクロホシクサを確認しております。



14 平和行政について

質問者 内藤 富江 担当 環境政策課

【質問】自衛隊の徒步行進訓練は落合公園やふれあい緑道など市内の公園で行われている。これらの場所は市民の方々が憩い、散策する場所でもあり、子どもたちの通学路にもなっている。迷彩服を着て小銃をかまえての訓練は市民に恐怖を与えている。このような場所での訓練は中止するよう自衛隊に働きかけるべきではないか当局の考えを問う。

【答弁】陸上自衛隊の徒步行進訓練は、昨年度は市内で15回行われました。この訓練は、自衛隊の任務遂行のために必要な訓練として行われていると考えており、市民生活に特に支障を及ぼしているということは市民の方から直接聞いておりません。しかし訓練計画やその実施については情報を収集し、必要に応じて対応してまいります。



15 就学援助費について

質問者 前田 扶美子 担当 学校教育課

【質問】最近、就学援助費をもらえるものはもらわねば損という風潮が強くなってきています。その反面本当に就学援助を必要とする児童生徒もいます。保護者の中でも援助費のことを知らずまた知っていても申告書の記入方法が解らない人もいます。申請や手続を簡素に解りやすくする方法や、ていねいに応じられる行政サービスの充実とそのPR方法について問う。

【答弁】就学援助は、生活保護法に定める要保護者、又はこれに準ずる程度に生活が困窮していると認められる保護者に対し、給食費など教育にかかる費用の一部を助成するものです。PRについては市のHP、広報さらには小学校の入学式にチラシを配布しています。今後も一層のPRに努めるとともに申請者にとって分かりやすい内容での周知を図ってまいります。



16 火災警報器の取付補助事業について

質問者 宮地 隆 担当 介護保険課

【質問】住宅用火災警報器の設置を勧めるチラシが広報と一緒に配布され、来年の5月31日迄に設置が必要、住宅火災による死者の過半数を高齢者が占めている、等書かれていました。警報器の取り付け場所は天井などで、高齢者世帯では設置に苦勞すると思われます。高齢者等家具転倒防止器具の取付サービスと同様に支援するという考え方について、お尋ねします。

【答弁】火災警報器の設置については、自力で取り付けることが困難な一人暮らし高齢者などに対して、消防法の改正趣旨等を踏まえ、取り付けを促進するような方策が必要と考えます。

家具転倒防止取付事業と同様、機器分は自己負担していただいて、その取り付けについての支援を検討いたします。



17 子どもの医療費について

質問者 内田 謙 担当 生活医療課

【質問】子どもの医療費の無料制度は、子育て世代にたいへん喜ばれている。神田知事は、選挙で公表したマニフェストの実現を図るとして、工程表を作成した。子どもの医療費無料化については、来年度から通院は就学前まで、入院は中学校卒業まで拡大するというもの。市として、子どもの医療費無料化を通院、入院とも中学校卒業まで拡大することを求める。

【答弁】子育て家庭への支援は、「次世代育成支援対策行動計画」に基づき、経済的支援を含めて、総合的、計画的に取り組んでいます。今後におきましても、子育てに伴う支援施策につきましては、国や県の動向あるいは社会情勢を踏まえて、総合的な見地から必要な支援策の推進に努めてまいりますが、医療費助成制度につきましても、健康保険法の改正と愛知県から示される補助制度の改正案を踏まえて、今後、その対応を検討してまいります。



18 省エネルギー対策について

質問者 伊藤 隆司 担当 (総務課)

【質問】本市は県下でもいち早くISO14001を導入し、また、ESCO事業も検討するなど、環境問題に取り組んでいることは理解しますが、今新しい技術によって、大型ショッピングセンター等で15%から20%も節電して、CO₂と経費削減に成功しています。本市においても、一刻も早い温暖化対策と省エネをして、合わせて経費節減に取り組んではどうか。

【答弁】地域温暖化対策におけるCO₂などの排出抑制は非常に大切であると考えています。現在、市におきましてはESCO事業導入調査の一環として、本庁舎を始め10施設において省エネルギー診断を実施しております。今後はこの診断結果をもとに、事業導入の有無の検討などを行うこととなりますが、ご提案のことにつきましても参考とし、進めてまいります。



めざせ！1人、1日、1kg CO₂削減

掲載以外の質問項目

- 組織風土改革について
- フェロシルトについて
- 災害時要援護者について
- 内津川遊歩道の南城橋周辺の交通安全について
- 介護ベッドなどの福祉用具について
- 保育行政について
- 女性の支援、社会参加について
- 市民の生の声をどのようなシステムで取り入れやすくするか
- 税源移譲だけでも増税になる人の対策について
- 小中学校の耐震化促進について
- 陸軍と彫られた石柱の保存について
- 教育行政について

編集後記

第3回定例会において、18名の議員が市政の課題、地域の問題などについて一般質問を行い、当局と活発な議論を行いました。市民満足度の向上を目指して議会の活動を通し、皆さまの期待に応えるよう努力してまいりますので、ご支援宜しくお願い致します。

暑さ厳しい折ご自愛ください。

編集委員一同